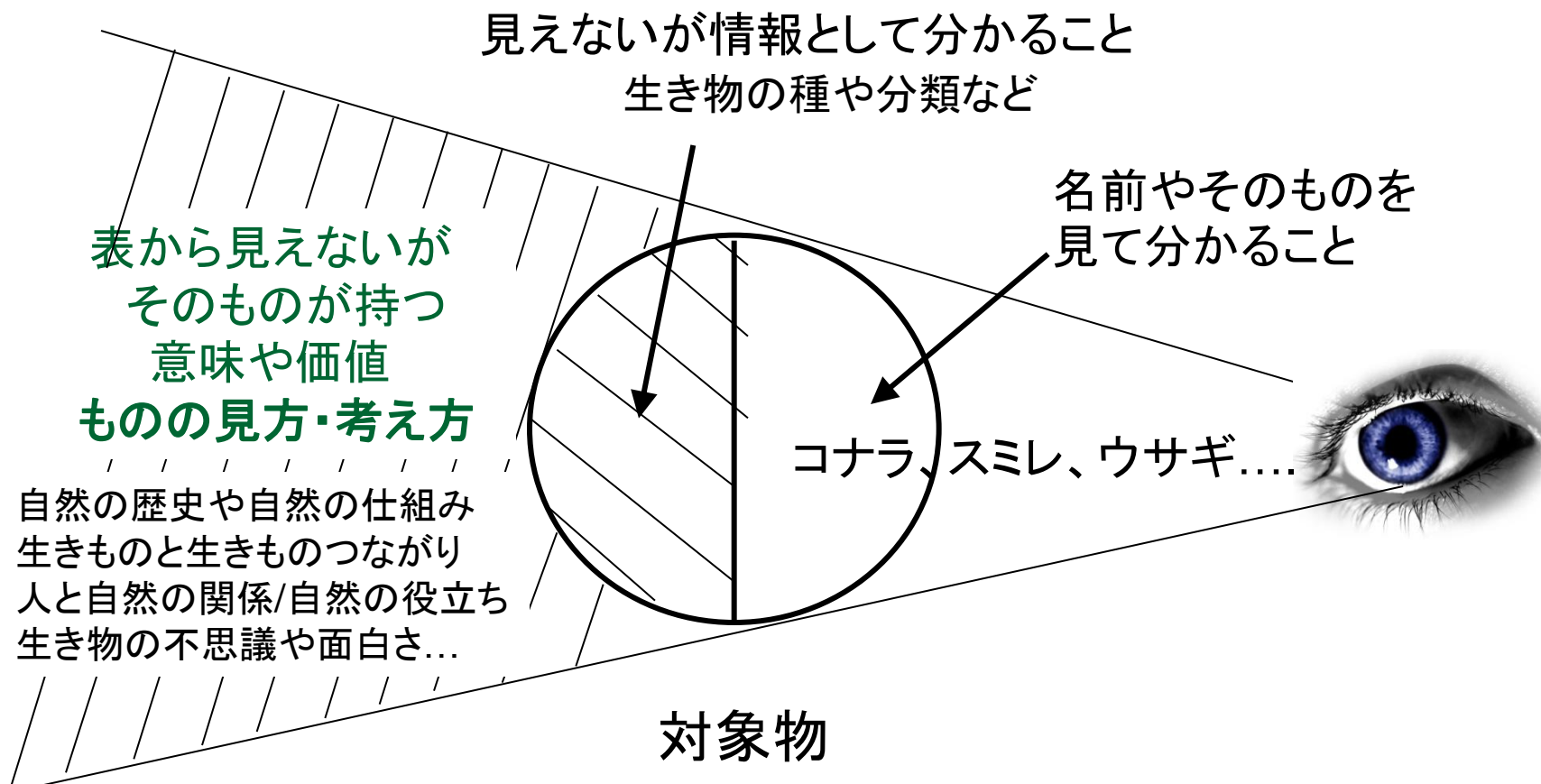


自然解説で伝えたいことは



伝えたいのは 自然の仕組み/自然と自然の関係/人と自然の関係/自然の不思議など...

自然解説の流れ

- あいさつ：XXを始めます / 私はZZZです
- 導入：どんなことをするのか説明する (つかみ)
- 本体： 観察・五感・体験・協力・作業・発見・表現....
- ふりかえり/わかちあい：体験の紹介
 - 参加者が体験を通じての気づき・学びを紹介し合う
- まとめ(自分の思いを伝える):
 - 「自然の大切さ」を自分の言葉で伝える
- 閉会：ありがとうございました これで終わります

色々な伝え方

- **話す**：言葉で説明する
- **見せる**：現物を見る（写真・紙芝居なども）
- **質問する**：問いかけをして考えてもらう(双方向で話しする) / クイズ
- **体験する**：五感で感じる（見る・聞く・匂う・味わう・触る）
- **ネイチャーゲーム**：自然をゲームを通して伝える
- 相手の発見に共感する(ほめてあげる「すごいね、良く見つけたね」)
- 子どもには子どもの話し方をする(専門用語は使わない)

相手に伝わるように話をするには

- ① 何について話をしているのか明確にする
- ② 相手に分かる言葉で話す
- ③ 話の筋が通るように話す

色々な話ができるようになるには....?

伝え方の四つの型

1. 説明型(一方向)
2. 対話型(双方向)
3. 体験型(体で知る: 五感)
4. 参加者主体型(自分で考え行動)

ことわざ:

聞いたことは忘れる
見たことは覚える
やったことは解る
見つけたことはできる